



2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年1月6日

上場会社名 株式会社 天満屋ストア 上場取引所 東
 コード番号 9846 URL http://www.tenmaya-store.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)野口 重明
 問合せ先責任者 (役職名)取締役執行役員管理本部長 (氏名)加島 誠司 (TEL)086-232-7265
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年2月期第3四半期の連結業績(2020年3月1日~2020年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	51,401	△3.2	1,643	19.4	1,705	16.1	1,082	20.4
2020年2月期第3四半期	53,077	△4.0	1,376	△16.5	1,469	△13.9	899	△15.4

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 1,100百万円(18.6%) 2020年2月期第3四半期 928百万円(△10.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	93.91	—
2020年2月期第3四半期	78.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年2月期第3四半期	47,740	22,003	46.0
2020年2月期	47,683	20,958	43.9

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 21,956百万円 2020年2月期 20,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	2.50	—	2.50	5.00
2021年2月期	—	2.50	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年2月期の連結業績予想(2020年3月1日~2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	70,000	△1.7	1,950	2.4	1,900	△8.6	1,000	△23.3	86.73

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年2月期3Q	11,550,000株	2020年2月期	11,550,000株
2021年2月期3Q	19,302株	2020年2月期	23,288株
2021年2月期3Q	11,529,945株	2020年2月期3Q	11,526,712株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後さまざまな要因により、予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、国内外の経済活動が制限され、外出自粛や移動制限などから個人消費が冷え込み、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言解除後、政府による「GoToキャンペーン事業」等の効果もあり、回復の兆しが見られたものの、感染再拡大により、景気回復の道筋が見通せず、先行き不透明な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、新型コロナウイルス感染症防止対策を最重点とした事業活動に取り組むとともに、危機管理やコンプライアンスの徹底によるコーポレート・ガバナンスの強化にも努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業収益(売上高及び営業収入)は514億1百万円(前年同四半期比3.2%減)、営業利益は16億43百万円(前年同四半期比19.4%増)、経常利益は17億5百万円(前年同四半期比16.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億82百万円(前年同四半期比20.4%増)となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

(小売事業)

小売事業につきましては、コロナ禍により大型店舗への客足が遠のき、衣料品や生活用品の需要が減少する一方、巣ごもり消費や在宅勤務などを要因に内食需要が高まり、食料品は堅調に推移いたしました。

こうしたなか、新型コロナウイルス対策として、店内混雑緩和を目的に折込チラシの配布や大型イベントの自粛、営業時間の短縮、「おもいやり優先時間」の設定及びマネー決済事業者との共同キャンペーンによるキャッシュレス決済の推進など、安全に配慮した販売体制の構築に取り組んでまいりました。加えて、従業員への感染防止対策支援やテナント家賃の減額要請への対応などを実施するほか、店舗および部門間の繁閑に応じて要員体制を見直すとともに、省力機器の導入や業務のデジタル化により働き方改革の推進及び生産性の向上にも努めてまいりました。

また、3月に安定的な商品供給を目的に生鮮センター(岡山市南区)内に水産加工センターを開設、4月に東一宮店(岡山県津山市)の全面改装、7月に鴨方店(岡山県浅口市)を改装し、ホームファニングストア「ニトリ」を導入するなど既存店舗の活性化にも取り組んでまいりました。さらに、6月には、本部社屋の建て替えを行い、バックオフィスの最適化を目指し、フリーアドレス制の採用やデジタル化によるペーパーレスを推進するなど、効率的に業務を遂行できる環境を整備し、従業員の働き方改革に取り組んでまいりました。事業拡張につきましては、10月に津島店(岡山市北区)を新設いたしました。

加えて、グループ経営において、移動販売事業の専門的運営を目的に、2020年3月1日付で当社子会社の有限会社ハッピーバラエティに移動販売とくし丸事業を委託し、9月に福山地区へ事業エリアを拡張いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売事業の営業収益は473億43百万円(前年同四半期比2.6%減)、営業利益は14億61百万円(前年同四半期比30.5%増)となりました。

(小売周辺事業)

小売周辺事業につきましては、惣菜等調理食品の製造販売が主なものであり、引き続き徹底した品質管理と衛生管理に努めるとともに、商品開発の強化や生産性の向上に取り組んでまいりました。政府の需要喚起策「GoToキャンペーン事業」により外食需要は持ち直しつつありますが、飲食店における客数減により厳しい状況で推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の小売周辺事業の営業収益は40億57百万円(前年同四半期比8.9%減)、営業利益は1億81百万円(前年同四半期比29.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ56百万円増加し、477億40百万円となりました。これは主に、投資その他の資産が2億18百万円、有形固定資産が1億7百万円減少したものの、流動資産が4億35百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ9億88百万円減少し、257億37百万円となりました。これは主に、流動負債が5億5百万円、固定負債が4億83百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ10億44百万円増加し、220億3百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年10月7日公表の業績予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	808,589	1,743,148
売掛金	1,693,250	1,956,321
商品	2,540,436	2,142,219
貯蔵品	33,292	49,541
その他	1,919,326	1,538,375
貸倒引当金	△6,290	△5,632
流動資産合計	6,988,605	7,423,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,822,419	12,135,479
土地	14,616,240	14,616,240
その他(純額)	2,958,676	2,538,439
有形固定資産合計	29,397,336	29,290,159
無形固定資産		
のれん	152,688	123,427
その他	2,648,859	2,625,285
無形固定資産合計	2,801,548	2,748,712
投資その他の資産		
差入保証金	2,034,668	1,951,989
敷金	4,559,273	4,328,884
その他	1,915,242	2,009,502
貸倒引当金	△12,800	△12,800
投資その他の資産合計	8,496,384	8,277,576
固定資産合計	40,695,269	40,316,448
資産合計	47,683,875	47,740,422

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,641,078	5,092,381
電子記録債務	899,359	882,369
短期借入金	7,322,008	4,008,140
未払法人税等	424,037	283,053
賞与引当金	95,543	153,750
その他	3,443,798	3,900,880
流動負債合計	14,825,825	14,320,574
固定負債		
長期借入金	6,843,212	6,046,597
役員株式給付引当金	26,454	28,556
利息返還損失引当金	67,899	55,170
退職給付に係る負債	1,380,332	1,278,152
資産除去債務	219,636	233,624
長期預り保証金	123,379	665,242
長期預り敷金	1,988,716	2,046,343
その他	1,250,044	1,062,871
固定負債合計	11,899,676	11,416,559
負債合計	26,725,501	25,737,134
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,697,500	3,697,500
資本剰余金	5,347,500	5,347,500
利益剰余金	12,007,099	13,032,164
自己株式	△26,876	△22,244
株主資本合計	21,025,223	22,054,919
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,464	36,800
退職給付に係る調整累計額	△152,556	△134,771
その他の包括利益累計額合計	△111,092	△97,971
非支配株主持分	44,243	46,339
純資産合計	20,958,373	22,003,288
負債純資産合計	47,683,875	47,740,422

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
売上高	50,790,058	49,133,955
売上原価	37,984,394	36,643,046
売上総利益	12,805,663	12,490,909
営業収入	2,287,506	2,267,072
営業総利益	15,093,169	14,757,982
販売費及び一般管理費	13,717,001	13,114,943
営業利益	1,376,168	1,643,039
営業外収益		
受取利息	2,436	2,399
受取配当金	51,650	51,967
雇用調整助成金	—	52,037
協賛金収入	6,030	16,438
受取補償金	116,027	7,804
その他	7,198	18,009
営業外収益合計	183,342	148,657
営業外費用		
支払利息	90,055	72,102
その他	265	13,934
営業外費用合計	90,321	86,037
経常利益	1,469,189	1,705,658
特別損失		
固定資産除却損	67,961	73,133
減損損失	34,808	—
その他	7,962	5,936
特別損失合計	110,732	79,070
税金等調整前四半期純利益	1,358,457	1,626,588
法人税等	454,327	539,279
四半期純利益	904,129	1,087,308
非支配株主に帰属する四半期純利益	4,862	4,496
親会社株主に帰属する四半期純利益	899,266	1,082,812

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年3月1日 至2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年3月1日 至2020年11月30日)
四半期純利益	904,129	1,087,308
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,912	△4,663
退職給付に係る調整額	18,178	17,785
その他の包括利益合計	24,090	13,121
四半期包括利益	928,220	1,100,430
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	923,357	1,095,934
非支配株主に係る四半期包括利益	4,862	4,496

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実行税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。